



アマモマン
芦北高校作

熊本県芦北町アマモで魚いっぱい！ 夢いっぱい！ ブルーカーボンプロジェクト！

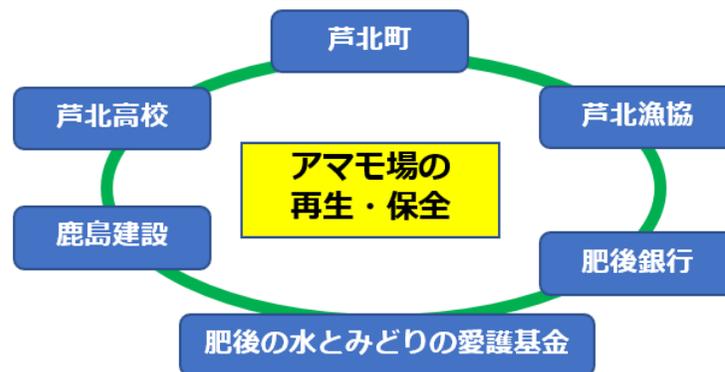


・ 芦北町・熊本県立芦北高等学校・芦北町漁業協同組合
・ 鹿島建設株式会社・株式会社肥後銀行・肥後の水とみどりの愛護基金

プロジェクト概要

熊本県芦北町では、2003年（平成15年）からアマモ場の減少に危惧した地元漁業者からの協力依頼を受けたことをきっかけに、熊本県立芦北高校と芦北町漁業協同組合、芦北町でアマモ場の再生に取り組んできました。2023年（令和5年）からは、さらに鹿島建設株式会社、公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金、株式会社肥後銀行と連携し、芦北地域におけるアマモ場をはじめとする藻場の再生による海域環境の改善に向け相互に協力し、生物多様性の保全及び気候変動対策並びに持続可能な地方創生に資するための取り組みに発展しています。

産官学金民連携による持続的活動体制



プロジェクトの特徴・PRポイント

☆ 地元の高校生と漁業者が20年を超えるアマモ場再生！

☆ 活動の中心を担うのは高校生！

芦北高校林業科では、日頃授業で学ぶ農学や林学の知識・技術を応用して多くのアマモ場造成技術を考案し、独自の種子散布法やアマモ苗の移植法、アマモ苗栽培法を確立し、アマモ場の再生に貢献しています。

（5～6月に種子散布による造成、12月～3月に苗移植による造成、通年アマモ場の調査と研究室にて栽培実験を実施）

☆ 産官学金民連携による持続的活動体制の構築で、さらにアマモ場の再生・保全技術の向上！



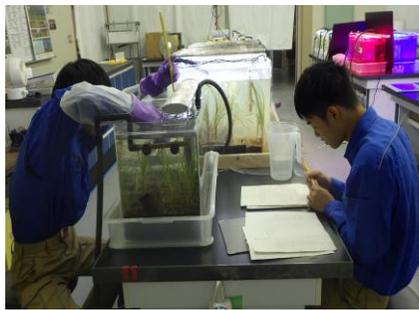
アマモの花枝採取



アマモの種子散布



アマモ苗の移植



栽培実験



絨毯のように広がるアマモ場